

情報倫理全般(1)／新聞記事を活用したトレーニング

前回の宿題の確認

- Twitter (ツイッター) について調べてくる
 - Twitterとはどんなものなのか？(内容、しくみ)
 - Twitterはどのように使われているか？(事例；具体例、場面、利用者)
 - Twitterは使うほうが良いものなのか？良くないものなのか？(理由、対象；誰にとって、使い方、場面)
- 自分がまとめたことを他の人に伝えるように説明する

ゼミの進め方、ゼミ全体テーマの説明

- 前回配布した資料をもとに、この全体と毎回のゼミの進め方を確認します。
- このゼミで扱う「情報モラル」「情報倫理」というテーマについての概説します。

新聞記事を活用したトレーニング

メディアリテラシーを鍛える

ゼミでは、毎回、新聞記事を活用した「メディアリテラシー」のトレーニングをします。「メディアリテラシー」とは、さまざまな情報に対して、その発信側の意図を理解したうえで、情報を理解して取捨選択し、さらに情報をもとに自分の意見をまとめるような能力です。

「メディアリテラシー」は、「情報モラル」「情報倫理」で求められる能力のひとつでもあります。具体的には、次のような力を身につけることを目的とします。

1. 事実と意見を区別できる
2. 複数の情報を比較して判断できる
3. 情報の発信側の意図を見抜くことができる
4. 複数の情報を整理して発信できる
5. 自分の意見を、具体的な根拠とともに、発信できる

トレーニングの内容

毎回のゼミで、数名を指名して、次のような内容のメニューをこなしてもらいます。

1. ステップ1：新聞から記事を選びだす
 - 好きな記事、または、ゼミで指定されたテーマやキーワードを含む記事を選ぶ
2. ステップ2：その記事を切り抜き、ワークシートに貼る
 - 配布するワークシートに、切り抜いた記事（またはコピー）を貼りつける
3. ステップ3：記事の重要なポイントとそれに対する意見を、ワークシートに書く
 - ワークシートを活用して、その記事が伝えたいこと、自分が選んだ理由、感想、意見などをまとめる
4. ステップ4：記事の内容とそれに対する自分のコメントを発表する
 - 30秒から1分程度で、ワークシートにまとめた内容をプレゼンテーションする
5. ステップ5：全員でディスカッションする
 - 発表した内容をもとに、軽いディスカッションや質疑応答をする

トレーニングの注意点

- ステップ3: 記事の重要なポイントとそれに対する意見を、ワークシートに書く
 - 記事の重要なポイントは、メインメッセージ (記事が伝えたいこと)、補足情報 (背景、具体例など)、影響や意義など、3つのポイントにまとめる
 - 記事に対するコメントは、記事を選んだ理由、読んだ感想、記事に対する自分の意見やどうあるべきか (定義) などをまとめる
- ステップ4: 記事の内容とそれに対する自分のコメントを発表する
 - 記事の内容は、メインメッセージ→補足情報→影響など→自分の意見、の順に説明する
 - ワークシートに書いたことをただ読み上げるだけではダメ
- ステップ5: 全員でディスカッションする
 - 聞く側の人には、聞いている間にコメントを用意して、発表の後に意見をいう
 - さらに詳しい内容についてや、わからなかった用語などの意味を質問してもよい

参考文献

- 齋藤孝「新聞で学力を伸ばす」(朝日新書 249), 朝日新聞出版 (2010.08).